

「2. 現状分析」欄の記入例②（平成19年度に作成した実績評価書Ⅸ-3-1から引用）
 ※ 図表を使用した例

2. 現状分析

介護保険制度の施行後、要介護認定者数は増加しており、施行直後と5年後の要介護認定者数を比較すると約1.9倍となっている。特に、軽度者（要支援・要介護1）の認定を受けた方は、約81万人から約204万人へと約2.4倍となっている。軽度者の方は、体を動かさないことにより徐々に生活機能が低下していく「廃用症候群（生活不活発病）」の状態にある方や、その状態にある可能性が高い方が多いことが特徴であり、こうした方々が、本人でできることはできる限り本人が行うという観点で介護予防サービスを適切に利用することにより、要支援・要介護状態にならないことが期待されている。

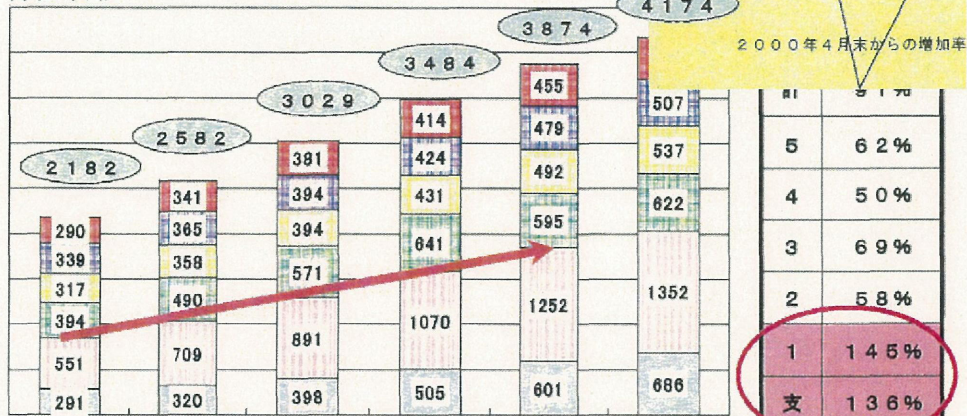
別添として添付

施策が必要とされている社会的背景を記入

(別添)

要介護度別認定者数の推移

(単位:千人)



2000年4月末 2001年4月末 2002年4月末 2003年4月末

□ 要支援 □ 要介護1 □ 要介護2 □ 要介護3 □ 要

○ 被保険者数の推移
 65歳以上の被保険者数は、5年2ヶ月で約359万人(17%)増加

特に、要支援・要介護1の認定を受けた人は、136~145%増(2.3~2.4倍)

5	62%
4	50%
3	69%
2	58%
1	145%
支	136%

○ 「3. 施策目標に関する評価」の記入

ア. 「施策目標に係る指標(達成水準/達成時期)」欄には、政策体系に定めた施策目標の達成状況を評価する指標を記入する。また、欄内に当該指標の単位を括弧書きで記入するとともに、政策体系に定めた当該指標に係る達成水準及び達成時期を記入する。

なお、指標は極力アウトカム指標とし、達成水準及び達成時期を明記する。達成水準又は達成時期が設定されていない場合は、原則指標として採用せず、別途参考統計欄に整理することとする。